

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	C066	行 事 名	ソフトウェア信頼性登録制度の説明会	
行事形式	3.ICTセミナー等	主催団体	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	
開催日	8月28日		開催場所	CIAJ会議室および リモートによる開催
行 事 参加者数	23名		Webサイト URL	<a href="https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/103">https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/103</a>
行事実施概要・アピール等				
<p>中性子線などの放射線によって発生するソフトウェアに対する通信装置の耐性を示す、ソフトウェア信頼性を国際標準に準拠した方法でチェックし、CIAJで登録・公開するため、ガイドラインの制定・他の準備を進めています。本セミナーでは、①ソフトウェアとはどのような現象か、通信装置の試験対策はどのようにするか、②通信装置開発者から見たソフトウェア対策や試験の実際、③制定済みのガイドラインの目的、考え方などの関連事項について、電磁妨害対策技術委員会の配下のソフトウェア信頼性WGのメンバー三名により、装置開発者にわかりやすく説明を実施しました。</p> <p>講演1.ソフトウェアについて、岩下委員(日本電信電話株式会社)</p> <p>講演2.ソフトウェア対策と試験の実際(通信装置開発者から見た)、飯塚委員(日本電気株式会社)</p> <p>講演3.CIAJガイドライン(下記)のご紹介、服部WG主査(NTTアドバンステクノロジー株式会社)</p> <p>ソフトウェアガイドライン(技術基準1 - 信頼性評価方法)</p> <p>ソフトウェアガイドライン(技術基準2 - 試験設備の評価)</p> <p>ソフトウェアガイドライン(技術基準3 - 測定機器の校正及び点検)</p> <p>ソフトウェアガイドライン(運用規定1 - 装置の信頼性登録規定)</p> <p>ソフトウェアガイドライン(運用規定2 - 試験設備の登録規定)</p>				



服部WG主査



岩下委員



飯塚委員

# ソフトウェア標準化

ITU-Tにてソフトウェアに関する国際標準化完了

ITU-T K.124/JT-K124(概要編) 全体のまとめ

ITU-T K.131(設計編)  
対策方法に関する勧告

✓発生率の見積り  
✓対策設計

K Suppl. 11(補足編)  
FPGAのためのソフトウェア対策

ITU-T K.150(デバイス編)  
通信装置のソフトウェア対策に必要な半導体デバイス情報定義

ITU-T K.130(試験編)  
試験方法に関する勧告

加速器により通信装置全体へ中性子線を照射しソフトウェアを発生させ処理を確認

ITU-T K.139(基準編)  
ソフトウェアの影響の低減基準

現在の対象装置：リンク、ノード、アクセス

ITU-T K.138(評価編)  
基準の評価方法  
ソフトウェア試験結果を元に、基準編の信頼度規定の適合性を評価する方法を記述

Copyright 2023 NTT CORPORATION

49